

地域で活躍している作業療法士を紹介します。

新上五島町こども発達センター 作業療法士 定道 陽平

新上五島町こども発達センターあおいとりは就学前の子どもを中心とした母子通園型の児童デイサービスとして新上五島町直営で開設され、就学前の子どもを対象とした児童発達支援、小学生を対象とした放課後等デイサービスを実施しています。

人口の規模が小さいこともあり、障害を持たれたお子

さんの利用はもちろん、保護者支援を兼ねて、「落ち着きが無い、こだわりがある」といった気になる子、子育てに困り感がある場合でも気軽に利用できるのが特徴です。

同センターにおける作業療法士の取り組みを聞いてみました。

*なぜ上五島で働こうと思ったのでしょうか

もともと子どもと田舎が好きで、好奇心旺盛な性格も加わり、漠然とですが興味がありました。そして平戸で体験した地域密着型のリハビリをきっかけに、島で働いてみ



たいと思いました。その後、大学の先生から、上五島に小児の発達施設が開設されることを聞き、やりがいと不安を感じながら島にやって来ました。

*地域で果たす役割は？

療育施設を利用されるお子さんへの訓練や取り巻く環境での連携はもちろんですが、島に存在しなかった新しい施設であるため、発達障害に対する偏見を可能な限り取り除き、普及啓発することが重要な役割かと思われまます。そのためにまず保護者や、普段子ども達と関わる時間の長い、保育士・幼稚園教諭の方々を中心とした学びの場を提供しています。そして、その場を利用して、療育施設の存在や内容・目的、気になる子の相談にかかるまでの経緯等を知って頂くことで、連携を取りやすくしています。

また、保護者と、園・学校との間に入って、第三者としての意見や情報の伝達、保護者の要望を伝える場も増えており、対象のお子さんが生活しやすい環境を作ることを考えています。

他にも、施設の作業療法士であると共に、新上五島町の職員でもありますので、健診や園訪問による島内の子ども達全体の把握や、小児だけでなく高齢者向けの介護予防事業に協力させて頂くこともあります。一作業療法士として、様々な面で地域に貢献できればと考えています。

プロフィール

定道陽平 (作業療法士)

経歴：平成22年3月長崎大学医学部保健学科

作業療法学卒業 平成22年4月より現在